

# パブリックコメントの実施結果及び意見対応

## 1. 実施概要

---

### (1) 公募期間

令和8年2月16日（月）～ 令和8年3月2日（月）

### (2) 公表場所

- ・大町市ホームページ
- ・大町市役所、八坂支所及び美麻支所の各担当窓口

### (3) 意見を提出できる方

- ・市内に住所を有する方
- ・市内に事務所又は事業所を有する方
- ・市内の事務所又は事業所に勤務する方
- ・市内の学校に在学する方
- ・市内に土地、建造物若しくは工作物を所有、占有若しくは管理する方

### (4) 提出方法

- ・大町市役所の担当窓口を持参・提出
- ・郵送
- ・ファックス
- ・電子メール

## 2. 実施結果

---

### (1) 意見提出者

3名

### 3. 意見対応

いただいたご意見を要約し、要旨と当該意見への市の対応案（回答）を以下にまとめました。

意見番号	意見者番号	意見の要旨	回答
1	1	<p>国からの補助金を含めて予算が9億円のようなのですが、ポケットパークや歩道的美装では、大町市の中心市街地は活性化しないと思います。人が利用しないポケットパークと人が歩かない綺麗な歩道が増えるだけだと思います。</p>	<p>本計画では、平成10年に策定した前事業計画における反省点を踏まえ、単にポケットパークや歩道を綺麗にするだけでなく、空き家や空き店舗の利活用を促進する取り組みや、公共事業に対する市民の皆様のアイデアを形にするための活動支援といった「ソフト施策」を同時並行で展開してまいります。</p> <p>ポケットパークや道路的美装化についても、一律に整備を進めるのではなく、地域住民や実際にそこを歩く利用者のニーズを丁寧に汲み取ることが不可欠で、実際に利用する人の視点に立ち、そこが「憩いの場」や「交流の拠点」として機能するよう、魅力的な空間づくりを段階的に進めていく方針です。</p>
2	1	<p>大事な税金を使用するならば、効果的な事業を考えて実施してもらいたい。</p> <p>例えば、大町市の特徴である水路の見える化（暗渠の蓋を透明にして見えるようにするなど）。</p> <p>また昔あった町川を復活させる案（技術的に可能な場所、部分で実施、予算の範囲内で小さくても良い）（八日町ポケットパークの西側に呑み堰がありますが、それを拡大して改良した方が実現性がありそうです）</p>	<p>本計画では、整備方針の一つに「随所に水を感じられる街なみ形成」を掲げ、大きな魅力である豊かな「水」を活かし、市民の皆様や観光客がその価値を実感できる効果的な整備を行うことは、本事業において重要な方針であると認識しています。</p> <p>町川の復活（開渠化）については、本通りの歩道下を流れる「町川雨水幹線」が地下構造物としての制約や維持管理上の技術的な課題が多く、現時点ですぐに事業化することは難しい状況にありますが、八日町ポケットパーク（PP）西側の呑み堰については、「呑み堰のせせらぎを感じる」イメージを計画へ盛り込み、公園の改修に併せて親水空間として活用する整備を検討してまいります。（3-25ページ参照）。</p>
3	2	<p>大黒町の信号、147号線をはさんで、下記があります。</p> <p>「大黒天 大町市指定有形文化財第三十九号」と「女清水」</p> <p>「大黒町追分のシダレザクラ 大町市指定天然記念物第三十八号」</p> <p>いずれも「歴史の個性と重層性を活かした街なみ形成」と「随所に水を感じられる街なみ形成」にとって欠くべからざる重要なもので、起終点の魅力化という意味でも、千国街道回遊の目的地としても</p>	<p>大黒天（市指定有形文化財）、女清水、大黒町追分のシダレザクラ（市指定天然記念物）は、本計画の整備方針3「歴史の個性と重層性を活かした街なみ形成」と整備方針2「随所に水を感じられる街なみ形成」の観点からも重要な資源です。</p> <p>これらは事業区域外に位置しますが、千国街道（本通り）の北の玄関口である大黒町交差点に近接し、本事業の展開する上でその重要性を十分に考慮すべき地点</p>

意見番号	意見者番号	意見の要旨	回答
		大切な場所なので、整備計画に組み入れて頂きたいと思います。	であるため、案内サインの設置などにより、若一王子神社などへの誘導についても検討し、市街地の起終点としての魅力を高め、千国街道を訪れる方々がその歴史と水の文化を深く堪能できる環境整備を目指します。
4	2	サイン等による情報発信においては、下記も製作をお願いしたいです。 「大黒天 大町市指定有形文化財第三十九号」と「女清水」 「大黒町追分のシダレザクラ 大町市指定天然記念物第三十八号」	本計画では、まちなかの賑わい創出を目標とするとともに、周辺地域に存在する魅力的な拠点との連携も重要な要素であると考えています。 そのため、サイン（案内標識）を整備する際には、事業区域内の誘導に留まらず、「若一王子神社」への案内を継続することはもとより、まちなか周辺の拠点等も案内対象として計画へ盛り込み、整備を検討し、事業区域外を含めた広域的な回遊が促進され、まちなか全体の活性化につながることを目指します。 <想定する周辺の歴史・文化的資源等> ・若一王子神社 ・大黒天と女清水 ・大黒町追分のシダレザクラ ・天正寺 ・竈神社 ・文化財センター等 (3-40ページ参照)
5	2	これまでのサインの考え方を見ますと、「若一王子神社」があります。これは継続して頂きたいです。 さらに追加として、整備計画区域からは147号線をはさんで位置する、県や大町市指定の文化財のある「天正寺」、その隣の「竈神社」。そして、「大町市博物館・資料館文化財センター」もサイン製作に加えて頂きたいと思います。ここには縄文マニアとしては必見の、ヒスイ加工場のあった大町市から出土したヒスイの原石や研磨砥石など、全国的にも珍しいものが展示されていますので。	
6	2	仁科町エリアの整備イメージの中に、「多彩なモビリティの安全な通行確保」があります。この理念は、仁科町エリアに限定することなく、行って頂きたいと思います。 例えば、大黒町の大黒天までは1.6kmありますが、E-Bike等で行けば簡単です。各エリアで行われる駐車場の整備の際に、駐輪場を併設するなどご検討下さい。  参考：大町市散策マップ <a href="https://omachi.sakura.tv/">https://omachi.sakura.tv/</a> 大町市の文化財(大町市指定文化財調査書)第2版 大町市教育委員会 糸魚川翡翠「シルバージュエリーを作る」大塚浩司 ほおずき書籍	多彩なモビリティの安全な通行確保」という理念は、ウォーカブルな街づくりを目指す視点から、まちなか全体で検討すべきであると考えており、E-Bike等を活用した広域的な回遊は、周辺資源への移動手段としても有効と認識しています。 本計画では、駐車場やポケットパークの整備に合わせ、回遊の起終点となる主要な駐車場を中心に、自転車やE-Bike等での来訪者が安心して立ち寄り、駐輪できる環境の整備についても、併せて検討を進めます。
7	3	予算配分について 今回の事業のメインは賑わいをどうやって出すかが大事で、事業の軸は、いかに出店、オフィス、暮らす人を増やすかだとう。空き家に対する調査や大きな補	現在、市では中心市街地における空き家・空き店舗について所有者の意向把握を含めた実態調査を進めており、この調査結果を踏まえ、今後、空き家・空き店舗の活用を促進するための総合的な施策

意見 番号	意見者 番号	意見の要旨	回 答
		助などを行うことが望みます。	<p>を検討していく方針です。</p> <p>本事業における具体的な支援策としては、修景補助（店舗等の外観改修への補助）の積極的な活用により、既存の空き家・空き店舗の改修を促し、新たな利用へのハードルを下げること、民間主導の利活用に繋げてまいります。</p> <p>また、賑わいの創出に向けては、道路の美装化や小公園の整備といった公共施設側の「ハード整備」を単独で行うのではなく、民間建築物の修景と表裏一体で進めることが肝要であると考え、新規開業者や移住者の方々にとっても魅力的に映る「歩きたくなるような美しい街なみ」を一体的に形成することで、自然と人が集まり、結果として出店や移住の促進、そして活気ある街へと繋げていけるよう事業を推進してまいります。</p> <p>また、ご指摘の賑わい創出については、本計画に基づく道路美装化や小公園整備などの公共施設整備に併せ、新規開業者や移住者も視野に入れた民間の建築物の修景を一体的に進めることで、魅力的な街なみを形成し、出店や居住の促進につなげていきたいと考えています。</p> <p>※ 修景補助を利用するには、まちづくり協定の締結が必須となります。</p>
8	3	<p>計画書を見ると整備の事業にお金がかかりそうな気がします。道路が良くなったり、駐車場があるのは良いことではあるものの、現状でも十分に道路は使えているのでそれが軸では人は集まりにくい。またハードを増やすと金額がかかりすぎて費用対効果が小さくなる。</p>	<p>道路や駐車場等の環境改善は、歩行者の回遊性向上や沿道の活性化の基盤となるもので、こうした公共空間の整備に合わせ、民間の建物の修景に対する助成や、本計画の軸の一つであるソフト施策を組み合わせることで、魅力的な街なみ形成、そして賑わい創出の相乗効果をねらっています。</p> <p>なお、費用対効果については、市民の皆様へのアンケート結果に基づき分析を行い、一定の社会的・経済的効果が得られと見込んでいます。</p>
9	3	<p>例えば駐車場を整備して朝市ができるようにと書いてあるが、そんなに数カ所も必要なのだろうか。まずは駅前公園で実施をしてキャパオーバーになるようだったら、次を模索するなど段階が必要。</p>	<p>本計画における駐車場整備の主な目的は、各区域における「歩行の起点・終点」としての機能を高め、街全体の回遊性を向上させることにあります。特に仁科町・下仲町の市営駐車場に関しては、現状の使い勝手の悪さといった課題がある一方で、活用のポテンシャルが高いと</p>

意見 番号	意見者 番号	意見の要旨	回 答
			<p>いうご意見も多く頂戴しています。そのため、ハード面の改善のみならず、市としての運用面の工夫も含め、より魅力ある空間づくりを目指します。</p> <p>実際の整備にあたっては、駐車場や広場を日常的に活用される皆様のご意見を可能な限り反映させ、「ひと」の視点に立った段階的かつ実効性の高い整備へと繋げていきたいと考えています</p>
10	3	<p>賑わいとは何を指すものだろうか？ 観光？暮らし？仕事？</p> <p>計画を進める中で、力の入れどころを絞る必要がある。ばらけてしまうと何がしたいかビジョンもぼやけてしまうのではないか。</p>	<p>本計画では、全体テーマを「歴史と日常の営みが息づく街へ」とし、基本方針として、日常生活や仕事の場としての魅力向上を第一に掲げています。</p> <p>「賑わい」が目指す方向性につきましては、観光のみに特化するのではなく、まずは地域住民や事業者の皆様にとって、快適でゆとりとうるおいのある環境を整えることに主眼を置いて土台となる「暮らし」や「仕事」の環境を磨き、人を含めた「まち」の魅力を高めることで、結果として観光客や移住・新規起業家などの多様な交流を呼び込み、地域内外の人々が日常的に行き交う持続可能な賑わいの創出に繋げていきたいと考えています。</p> <p>ご指摘のように、ビジョンや整備の方向性がぼやけることで効果の薄い事業とならないよう、今後も官民連携して検討を進めてまいります。</p>